

議会だより

No.199

2016.2.15

発行 茨城町議会
編集 議会広報委員会

茨城町ホームページ <http://www.town.ibaraki.lg.jp/>



主な内容

正副議長就任あいさつ	2 P
新議員の紹介	3 P
常任委員会等の構成	4 P
12月定例会あらまし	5 P
一般質問	7 P
お知らせ	10 P

【表紙の写真】

新議員にてスタート

平成27年11月29日に行われた町議会議員選挙において当選した16名の新議員による初議会が、12月21日から25日の5日間の会期で開催されました。



議長に 海老澤 忠 氏 副議長に 久保田 良一 氏が就任

正副議長就任あいさつ



久保田 良一 副議長

海老澤 忠 議長

町民の声を第一に考える議会を目指します

議会議長 海老澤 忠

先の町議会議員選挙後の初議会にて、議員各位のご賛同を得て、議長の栄職を承ることとなり、その責任の重さを痛感しております。

住民主導による地方創生が叫ばれる昨今、これまで以上に自治体の監視者、提言者として議会の役割が重要になっていきます。

もとより微力ではございますが、町発展の一翼を担えるよう、誠心誠意努力してまいります。

円滑な議会運営に取り組みます

議会副議長 久保田 良一

先の町議会議員選挙の初議会にて、議員各位のご推挙を賜り、副議長の重職を務めさせていただくこととなりました。

地方においては、若年層の流出や、少子高齢化が加速するなど、喫緊に直面する諸問題が山積しております。

議長を補佐し、これらの問題が早期に解決できるよう円滑な議会運営に取り組んでまいります。

新議員紹介

氏名 (年齢)
住 所
当選回数



川澄 敬子 (62歳)
小幡1026
当選1回



鳥羽田 創造 (60歳)
鳥羽田1234
当選1回



石川 祐一 (54歳)
海老沢915
当選1回



鳥羽田 力 (46歳)
宮ヶ崎1070-2
当選1回



大野 千里 (62歳)
大戸1285
当選2回



山西 正樹 (45歳)
宮ヶ崎452-1
当選2回



大山 宏治 (48歳)
上石崎4557-395
当選2回



入野 富男 (64歳)
中石崎271
当選1回



高安 能久 (70歳)
下飯沼402
当選5回



海老澤 忠 (69歳)
奥谷1972-11
当選3回



亀山 勝男 (67歳)
下石崎2547-1
当選3回



久保田 良一 (66歳)
下土師802-1
当選2回



澤 秀雄 (64歳)
小幡7-12
当選7回



小貫 昭夫 (66歳)
城之内188
当選6回



福田 茂 (69歳)
常井824-1
当選5回



田家 勇作 (63歳)
神谷81-3
当選5回

※年齢は平成28年2月15日現在



平成27年 第4回定例会

【会期：平成27年12月21日～25日 5日間】

平成27年度一般会計補正予算など11議案を可決・同意しました。

平成27年第4回定例会は12月21日から25日までの5日間の会期で開かれました。

開会初日には、正副議長選挙が行われ、議長に海老澤忠氏が、副議長に久保田良一氏が新たに就任しました。続いて、総務・経済建設、教育民生、予算・決算の各常任委員会委員及び議会運営委員会、広報委員会の委員の選任並びに広域組合議会議員の選挙を行いました。

22日には、一般質問が行われ、3人の議員が執行部の考えをただしました。その後、町長から平成27年度一般会計補正予算など10議案について提案理由が説明され、10議案が所管の常任委員会に付託されました。

24日の最終日には、各常任委員会委員長より、付託された案件の審査結果の報告があり、全議案が原案のとおり可決されました。また、町長より提出された監査委員の選任について原案のとおり同意し全日程を終了しました。

可決された議案

○茨城町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利

用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定について

・マイナンバーを利用できる地方公共団体の独自サービスに係る事務の種類を特定するための規定を整備。

【施行期日】平成28年1月1日

【賛成多数】

○茨城町定住自立圏形成協定の締結に係る会議の議決に関する条例の制定について

・定住自立圏構想に基づき、人口減少等による共通課題に取り組むため、水戸市と周辺市町村がそれぞれ協定を締結することについて、議会の議決を求めるための規定を整備。

【施行期日】公布の日から

【賛成多数】

○茨城町証人等に対する費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

・農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員会の求めにより出頭した者に対する旅費支給に関する引用規定の改正。

【施行期日】平成28年4月1日

【全員賛成】

○茨城町税条例の一部を改正する条例について

・地方税法等の一部を改正する法律の公布及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく番号制度の開始に伴う条例改正。

・納税者申請による換価の猶予制度の新設に伴う徴収猶予及び換価の猶予要件の見直し

・減免申請に係る申請期限の変更

【施行期日】平成28年4月1日

【賛成多数】

○茨城町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

・地方税法等の一部を改正する法律の公布及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく番号制度の開始に伴う条例改正。

・減免申請に係る申請期限の変更

【施行期日】平成28年4月1日

・減免申請に係る個人番号の記載規定を整備

【施行期日】平成28年1月1日

【賛成多数】



○茨城町介護保険条例の一部を改正する条例について

・地方税法等の一部を改正する法律の公布及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく番号制度の開始に伴う条例改正。

・減免申請に係る申請期限の変更

【施行期日】平成28年4月1日

・減免申請に係る個人番号の記載規定を整備

【施行期日】平成28年1月1日

【賛成多数】

○茨城町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について

・農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員会の委員選出方法の改正や、農地利用最適化推進委員が新設され、農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める規定の整備。

【施行期日】平成28年4月1日

【全員賛成】

○茨城町立葵小学校児童用備品整備事業の契約の締結について

契約の方法 指名競争入札

契約金額 9,914,400円

契約の相手方

笠間市笠間1712番の6

有限会社 久野商会

代表取締役 久野 正博

履行期限 平成28年3月25日

【全員賛成】

○町道路線の認定について

・開発行為時点に築造された道路（長岡地内）の寄付受け入れに伴う認定。

路線名 町道1577号線

起点 長岡3652番440地先

終点 長岡3652番438地先

延長 47・1m

幅員 6・0m～6・1m

【全員賛成】

人事

○茨城町監査委員の選任につき意見を求めることについて

高安能久（下飯沼）

【全員同意】

可決された平成27年度一般会計補正予算

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	114億2587万円	1億2070万円	115億4657万円

補正の項目	補正前の額	補正額	補正後の額	主な内訳	
歳入	国庫支出金	14億1553万円	4787万円	14億6360万円	・自立支援給付費等
	県支出金	9億9236万円	▲2025万円	9億7211万円	・子ども子育て関係費等
	寄付金	300万円	1000万円	1300万円	・ふるさと寄附金
	繰入金	1億7088万円	7715万円	2億4803万円	・財政調整基金
	諸収入	2億6077万円	593万円	2億6670万円	・償還金等
歳出	総務費	17億3572万円	5258万円	17億8830万円	・ふるさと寄附金等関係事業費
	民生費	38億3221万円	3711万円	38億6932万円	・自立支援給付関係事業費
	衛生費	7億8467万円	19万円	7億8486万円	・母子保健関係事業費
	農林水産業費	6億6222万円	2343万円	6億8565万円	・土地改良等関係事業費
	商工費	1億4626万円	486万円	1億5112万円	・公園管理等関係経費
	教育費	16億6153万円	253万円	16億6406万円	・学校施設整備等関係経費



委員会構成

◎ 委員長 ○ 副委員長

委員会名	正副委員長	構成議員
総務・経済建設 常任委員会	◎ 田家勇作 ○ 石川祐一	山西正樹 久保田良一 亀山勝男 高安能久 海老澤 忠 澤 秀雄
教育民生 常任委員会	◎ 大野千里 ○ 大山宏治	鳥羽田 力 鳥羽田 創造 川澄敬子 入野 富男 福田 茂 小貫 昭夫
予算・決算 常任委員会	◎ 入野 富男 ○ 鳥羽田 力	石川祐一 鳥羽田 創造 川澄敬子 大山宏治 山西正樹 大野千里 久保田良一 亀山勝男 高安能久 田家勇作 福田 茂 小貫 昭夫 澤 秀雄
議会運営委員会	◎ 澤 秀雄 ○ 高安能久	大野千里 田家勇作 福田 茂 小貫 昭夫
広報委員会	◎ 山西正樹 ○ 川澄敬子	鳥羽田 力 石川祐一 入野 富男 亀山勝男

広域組合議会

広域組合名	構成議員
茨城地方広域環境事務組合	山西正樹 福田 茂 小貫 昭夫
茨城美野里環境組合	高安能久 田家勇作 澤 秀雄
霞台厚生施設組合	石川祐一 鳥羽田 創造 川澄敬子 久保田良一
水戸地方農業共済事務組合	大山宏治 亀山勝男 田家勇作
茨城県後期高齢者医療広域連合組合	大野千里



一般質問



川澄 敬子 議員

スクールバスの改善について

質問 現在の茨城町スクールバス運行に関する条例では、利用者1人につき月額3000円、同時に2人以上の利用者がいるときは2人目以降、2分の1の額とすると定めています。学校統廃合をした地域は、子どもの数が年々少なくなっている地域でもあり、子育て世代を応援するためにスクールバス代を無料にするなど教育費の父母負担の軽減が必要ではないでしょうか。

また、下校の際のスクールバスの運行についても、高学年の下校時刻に合わせた一便の運行だけでは、低学年が学校で長く過ごすことになり、身体的にも精神的にも負担が大きいと思われるため、低学年の下校時刻に合わせた便を増やし、二便の運行を考えても良いのではないのでしょうか。

答弁 スクールバスの料金については、統合準備委員会の答申を受け決定したものであり、現状では、受益者負担はやむを得ないと考えております。何らかの軽減措置について可能かどうか、今後検討してまいります。

スクールバスの運行については、低学年児童の通学安全の確保や放課後スクールサポーターにより有益な時間を過ごしていることから、現状の運行が適当であると考えております。今後も学校・保護者・地域の声を真摯に受け止め、児童・生徒の安全を第一に考え進めてまいります。

介護保険料の引き下げについて

質問 H27年度の介護保険制度の改定により、介護保険料の値上げで負担が重くなったとの声がたくさん寄せられています。所得段階が7段階から9段階に増えましたが、所得400万以上が最高だったのが290万円以上に引き下げられ、対象者は約3万円の引き上げになりました。お年寄りの負担軽減のために、所得段階の見直しと介護保険料の引き下げを求めます。同時に健康寿命を延ばすために、健康診断の充実や健康増進の取り組みの充実を求めます。

答弁 介護保険事業計画は3年を1

期として策定しています。H27年度は29年度においては国から示された標準の所得段階である9段階を採用しておりますが、計画期間中における見直しは困難であることから、次の事業計画見直し期の検討課題といたします。併せて、健康寿命を延ばすための介護予防事業を積極的に推進してまいります。

東海第二原発について

質問 当該施設は、30キロ圏内に約100万人が住む人口過密地域にあり、38年経過する老朽原発です。事故が発生した時の広域避難計画策定の現状と、避難先や避難ルートを知らない住民も多いことから中間段階での住民への説明を行うべきではないでしょうか。町民の命と暮らしを守るためにも、東海第二原発の再稼働中止を求めよう、町長の見解を表明していただきたい。

答弁 茨城県広域避難計画において、当町の避難先として潮来市・神栖市が示されており、避難所の割り振り等は検討中ですが、避難ルートについては未定となっております。避難計画に関する情報は、進捗状況に応じて必要な段階で町民の皆様へ周知してまいります。

また、当該施設の再稼働につきましては、県央首長会議等で、日本原

電の安全審査が再稼働に結びつくものではないとの確認をしております。安全協定の見直しも申し入れていることも踏まえ、再稼働については慎重に取り扱っていただきたいと思います。

質問 子供の健康調査については、北茨城市の検査で3593人のうち3人が甲状腺がんと診断されました。民間団体での検査でも、4099人のうち経過観察が必要なのは67.4%、精密検査が必要なのは42人との診断結果が出ています。費用は国が復興特別交付税で支給することです。お母さんたちの不安を解消するためにも、子どもの健康調査を町として実施すべきではないでしょうか。

答弁 環境省に設置されました東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う住民の健康管理のあり方に関する専門会議の中間取りまとめにおきまして、茨城県などの近隣県については、福島県で行われたような健康調査ではなく、個別の健康相談や放射線に対するリスクコミュニケーション等を行うことが重要であると報告されております。

甲状腺検査の実施につきましては、現在考えておりませんが、国や福島県の調査結果を注視し、県と連携しながら町民の不安解消に努めてまいります。

一般質問



大野 千里 議員

平成28年度の町の財政状況について

質問 経済財政の現状について、国では金融政策、財政政策、成長戦略のいわゆる3本の矢によって、およそ四半世紀ぶりに「良好な状況」を達成しつつあるとされています。これは各指標により、最悪のデフレ状態からは脱却したとの判断から来るものですが、一方で地方に住む我々には、依然、国で言う「良好な状況」が実感しにくいことも事実です。

ここ十数年間の地方財政の歳出決算を見てみると、総体的に社会保障関係費の増加分を、投資的経費と給与関係経費の削減でカバーしているようです。当然増経費を賄うため、それぞれの自治体が相当な行政改革を進めてきた結果だと思えます。しかし、今後も見込まれる人口減に伴う税収減に対し、いかにして安

定した財源の確保を図るかが自治体としての引き続き大きな課題であり、さらなる努力が必要だろうと考えます。そこで本町の平成28年度の財政の見通しはどうか伺います。

答弁 本年11月に試算した平成28年度一般会計における一般財源ベースの財政収支見通しでは、町税収入が生産年齢人口の減少や町民法人税割の税率引き下げなどにより減少が見込まれるほか、普通交付税では国政調査人口の減少により算定額に大きく影響するなど、これらを踏まえ歳入額は平成27年度決算見込み額に対し、約3億4,000万円減の約75億5,000万円と見込んでいます。一方、歳出では高齢化に伴う社会保障費や特別会計への繰出金などの増加などにより、大幅な歳出増になる見込みであります。

平成28年度予算編成の基本方針と重点事業について

質問 今、地方自治体を取り巻く行政課題は、各自治体ごとに多種多様化していますが、本町の最優先課題は人口減少だと思えます。そのため、実効ある施策を早急に打ち出していく必要があると考えられます。

人口減少に関連して、子育て支援の充実のほか、小中学校の教育内容や通学路の安全確保など、教育に関

わる予算も重要です。定住化の促進を図る上で、桜の郷地区の整備も重要な要素であると考えます。

また、益々、生産年齢人口の減少が進みます。今後、女性と高齢者の社会参加を進めなければなりません。そのためには、女性活躍の推進や中高年者の健康づくり、そして医療や福祉の充実を図り、環境を整えていかなければならないと考えます。

また、基幹産業の農業を守るため、今後のPPP対策が大変重要となつてまいります。さらに町内の地場産業である商工業者への支援、そしてラムサール条約の湿地登録に関連し、涸沼の観光及び環境保全にも対策を講じていく必要があると考えます。

これらは、魅力あるまちづくりを進めていく上で、いずれも重要な課題と考えます。平成28年度予算の中に、是非、有効な施策として取り込んで頂きたいと思うのです。そこで、予算編成に当たっての基本的な考え方と重点事業について伺います。

答弁 予算編成の基本方針は、財政収支見通しを踏まえ、歳入については最大限の確保に努め、歳出に当たっては先例や慣行に捉われないこと、既存事業の聖域なき見直しを行うこととし、事務事業の必要性や費用対効果を検証しながら、徹底的に無駄を排除し、財政収支バランスを図っていくこととしたところで、茨城

町まち・ひと・しごと創生総合戦略に沿った地方創生に取り組みとともに、地域づくりと集落の活性化、健康づくり、少子化対策・子育て支援、農業基盤づくりと農業の振興、涸沼の環境保全、地域資源を生かした観光産業の振興、それに行財政改革の7項目を重点取り組み事業として位置づけたところです。

意見 予算に関連し、ふるさと納税について申し上げます。全国的な例で、平成26年度や27年度上半期までの収入額が、10億円超の自治体があります。いずれも地域の特産物等に力を入れた結果だと思えます。

私もふるさと納税に関し、平成25年12月の一般質問で、町の特産物の品揃えをどうかと提案しました。今回、300万円ほど見越した。今回、300万円ほど見越した。今回、300万円ほど見越した。補正予算が上程されたのは、大変結構なことと思います。中身は、メロン、シジミ、牛肉、豚肉の申し込みが好調だと聞いていますが、人気の品物の中にコメが入れるよう、取り組んで頂きたいと思えます。

町には沢山の美味しいコメがとれ、また食味の高い特別栽培米で差別化を図っている農家もあります。農家の協力を得て工夫して頂きたい。自主財源としてふるさと納税は貴重な財源であり、今後もさらなる増収に向けての努力を願います。

一般質問



山西 正樹 議員

通学路の危険箇所の把握と安全対策について

整備とあわせてガードレールの設置など、通学路の安全対策が必要と考えますがいかがでしょうか。

3点目は、長岡小学校区内の通学路についてですが、小鶴の商店街を通学する児童は多く、車の通りもある割には道幅が狭く路上駐車の手も見受けられます。子供たちが歩く部分をペイントするとか側溝のふたを色つきのものに変えるなど安全対策が必要だと考えますがいかがでしょうか。

答弁 県道水戸神栖線の安全確保につきましては、海老沢郵便局T字路付近に危険箇所を促すためのカラー舗装を、併せてカーブミラーを設置しました。

同様に大洗友部線の交差点には、一部歩道や横断歩道を設置、大洗友部線の海老沢本郷付近の落差がある田んぼ側の200メートルには転落防止柵を設置し駒場地内においては歩道と車道の区別を明確にするために、路肩側をカラー舗装しました。

また、大洗友部線の海老沢区と本郷区の山際に2基の防犯灯を設置し大洗友部線の奥谷・小堤地内の歩道及び小鶴商店街の歩道の危険箇所につきましては、補修や路肩部のカラー舗装などの実施を水戸土木事務所にお願ひしながら、通学路にお

る子供たちの安全対策を進めてまいります。

スクールバスの運行について

質問 利用者は月に3,000円、2人目から1,500円の負担をしています。例えば子供2人なら4,500円、3人目では6,000円の負担となっております。

1点目ですが、受益者負担の考えから利用者が相応の負担をするのは当然と考えますが、子育て支援の観点から利用料の減額とか3人目以降を無料にするなど利用料を見直すことができないか見解をお聞かせください。

2点目は、スクールバスの利用範囲について伺いいたします。通学の安全を確保するため、現在は利用範囲に含まれていない地区につきましても希望に応じてスクールバスを利用することができないでしょうか。

答弁 利用料につきましては、子育て支援の観点から、3人目以降の保護者の負担軽減を検討してまいります。

2点目のスクールバスの利用範囲

の拡大でございますが、子供たちを取り巻く通学環境の実態を十分把握した上で今後の検討課題としてまいります。

自転車通学につきましては、通学路の危険箇所を把握し、注意を促すとともに、ヘルメット及び反射たすきの着用、悪天候時など交通環境の変化に対処した安全な走行について計画的に指導を実施しております。特にヘルメットの着用については、頭部保護の観点からも徹底を図るとともに、交通関係法規を守りながら、安全な走行、歩行者への配慮など、自己管理能力を高めるよう、実技指導していく予定であります。

意見 子供たちの通学路の安全対策について保護者の心配は尽きることはありません。今後も引き続き有効な対策を講じていただくようお願いいたします。

また、スクールバスにつきましては、来年度から長岡第二小学校を含む統廃合により町全体としてスクールバスの運行が始まりますので、その状況を踏まえ、子育て世代の負担が少しでも軽減され、子育てを応援する茨城町となりますようご配慮をお願いいたします。

～ 議会傍聴にお越しく下さい～

本会議は、町の議会活動を知る最も身近な方法ですので、ぜひ、議会傍聴にお越しく下さい。
傍聴にあたっては、傍聴を希望する当日に受付（役場3階議会事務局）にて傍聴券を受け取り、傍聴者入口より議場にお入りください。
傍聴者席は、先着順にて定員45名までとなっております。なお、定員を超えた場合は、庁舎1階ロビーに設置してありますテレビでも議会中継をご覧いただけます。

議会傍聴等についてのお問い合わせ
茨城町役場 議会事務局
電話 029-292-1111（代表）
029-240-7193（直通）

平成28年第1回定例会 会期日程（案）

期	月/日	曜	時刻	種 別	審 議 等 の 内 容
1	3/3	木	10時	全員協議会 本 会 議	議案一括上程、提案理由説明
2	3/4	金		休 会	議事調査
3	3/5	土		休 会	議事調査
4	3/6	日		休 会	議事調査
5	3/7	月	10時	本 会 議 委 員 会	会派代表・一般質問 議案等の質疑、委員会付託 付託案件の審査（常任委員会）
6	3/8	火	10時	委 員 会	付託案件の審査（常任委員会）
7	3/9	水	10時	委 員 会	付託案件の審査（常任委員会）
8	3/10	木	10時	委 員 会	付託案件の審査（常任委員会）
9	3/11	金	10時	委 員 会	付託案件の審査（常任委員会）
10	3/12	土		休 会	
11	3/13	日		休 会	
12	3/14	月	10時	議会運営委員会 全員協議会 本 会 議	付託案件の報告、質疑、討論、採決



委員長 山 正樹
副委員長 川 澄子
委員 鳥羽 敬一
委員 石川 祐一
委員 亀山 勝男

広報委員会

12月定例会 傍聴者数
男 17名
女 5名
合計 22名

傍聴者数

12月定例会
12月21日 全員出席
12月22日 全員出席
12月25日 全員出席

議員出席状況